



セカンドハーベスト名古屋

SECOND HARVEST NAGOYA PRESS

2024.1月号

NO.21

発行元 認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋

〒462-0831 愛知県名古屋市北区城東町七丁目148番地

TEL:052-913-6280 FAX:052-913-6281

E-mail:info@2h-nagoya.org URL:https://www.2h-nagoya.org/

編集/印刷 橋本写植



2023年度の活動を振り返って

今年もお世話になりました。

ポストコロナとなった2023年度は、多くの食品の物価上昇が止まらず、併せて食品メーカーが更に食品ロス低減に取り組むようになったため、セカンドハーベスト名古屋（以下、2HN）への食品寄贈は減少傾向を余儀なくされました。結果、今年度の食品収集量は470㌧程度（対前年-50㌧）が見込まれます。

年初の食品メーカーへの挨拶回りにて「寄贈できるものがあれば寄贈したいが食品ロス低減に取り組んでいる」との声が多かったため、一般の方の寄贈を促すフードドライブ（以下、FD）活動の広がりを進めるべく、2023年は様々な場でFDを宣伝する活動を進めてきました。地域の学校や企業、プロスポーツの試合会場など様々な場所でFDに取組んで頂ける団体が増えています。

コロナ禍でパートナー団体の訪問を見合わせていましたが、2023年は計画的に20団体を訪問しました。多くの団体でポストコロナの活動に変化が認められたことから、適正な食品提供のために今後も訪問活動を継続実施すべきと思われました。



公式X(旧 Twitter) では公式 Facebookと共に、日々の活動や寄贈のお礼、イベント情報などを配信しています。

行政等と連携した個人支援については、ほぼ昨年並みの5,700件程度になる見込みです。生活困窮者は増加傾向にありますが、相談窓口を担う行政や社会福祉協議会が自らFD等食品収集を行い、その食品を緊急支援として困窮者に手渡すケースが増えている印象です。一方、社会的養護の施設と連携した個人支援は、2023年より開始したケアリーバー支援により1,050件程度（対前年+60件）になる見込みであり、今後も増やしていきたいと考えています。

フードバンクネットワーク東海は、2023年はフードバンク間の食品の融通が進み、今後も広がりつつあります。また2023年2月から地元の大手ドラッグストアから寄贈頂ける米を、各フードバンクの最寄店舗へまとめていただけることとなり、7団体で毎月700kg～1㌧の米を引き取っています。

これらの成果はボランティアや事務局職員の頑張り、並びに2HNをご支援いただいている全ての方のおかげです。皆様に心より感謝申し上げますとともに、2024年も活動に励んでゆく所存です。

CONTENTS

2023年度の活動を振り返って	p.1
2HNの12ヶ月	p.2～3
2023年概況	p.4

ケアリーバー支援、スタート

これまで社会的養護の施設と連携した食料支援として、児童養護施設等を退所したケアリーバーを対象として毎月の食料支援を行ってきました。さらに支援を広げるため、毎月支援とは別に“仕事を辞めてしまった”“生活費が足りない”等、生活が大変になった時に食料支援を依頼できる「ケアリーバー支援」を2023年4月にスタートしました。困った時に退所した施設へ「助けて」と言えるよう、退所した施設を通して食料を支援する仕組みです。児童養護施設は年齢制限が撤廃されたとはいえ、まだまだ多くの子どもが就職や進学のため18歳前後で施設を出て一人暮らしを始めます。2HNは食料支援を通して彼らを応援していきたいと考えています。

社会的養護施設との意見交換会

2017年から社会的養護の施設と連携した個人支援を開始し、各々の施設とは対面や電話等で必要に応じ情報交換を行ってきましたが、9月に初めての意見交換会を開催しました。7団体の担当者、食料支援箱をつくっているボランティアが顔をあわせ、現状や課題、思いなどを語り合いました。私たちはケアリーバーと直接顔を合わせる機会はありませんが、担当者の話を聞くことでケアリーバーの現状の一面を知ることができ、この活動の重要性を再認識することができました。

施設担当者の声

お互いの状況や情報を共有することができよかったです。今後は子どもたちの状況や要望をできるだけお伝えしていきます。



愛知環状鉄道
開業35周年感謝
イベントにて
フードドライブ

2月

5日仕事始め

東海農政局
フードバンク
情報交換会

3月



ケアリーバー
支援スタート

挨拶まわりスタート



パートナー団体訪問スタート

4月

2HN支え合う会
全体会1回目

5月

SDGs将来世代創造フォーラム参加

6月

名古屋キワニス
クラブ社会
公益賞受賞

7月

中日ドラゴンズ
ホームゲーム
会場にて
フードドライブ

8月

2HN支え合う会
全体会2回目

9月

行政等窓口との
情報交換会
@愛知

10月

行政等窓口との
情報交換会@三重

11月

行政等窓口との
情報交換会
@岐阜（予定）

12月

31日仕事納め
おせち引取

パートナー団体訪問

2HNから食品を提供しているパートナー団体の多くは、コロナを経て活動規模や内容など様々に変化しています。パートナー団体との相互理解を深め、各団体のニーズを把握するために、2023年はパートナー団体訪問を強化しています。2024年以降も継続的に訪問をしていく予定です。



ヨハネイキイキサロン



希望の家

2HN 支え合う会（全体会）開催

年2回の開催で計47団体59人のパートナー団体に参加頂きました。今年は、2HNの活動報告だけでなく、①パートナー団体の活動②食品メーカーの取組み③行政等窓口の活動④地域連携を行っている団体の取組みなど、2HNと関りにある様々な団体に現場のお話をいただきました。「支え合う会」という名前に相応しい在り方を目指し、模索中です。今後も互いの交流を深めながら必要とされる支援の継続を目指します。

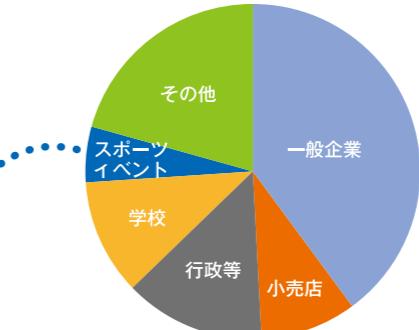


フードドライブ活動を推進中！

フードドライブ（以下FD）によって集められた食品の寄付は、2022年の67団体延べ245回に対して、2023年は9月末時点で80団体延べ349回と大きく飛躍しました。SDGsアクションとして企業・行政・学校だけでなく、ショッピングモールでのイベントやプロスポーツにおける試合会場など多くの場所でFDが開催されています。FDの浸透を実感するとともに、2024年はさらに多くの人にFD活動を知ってもらえるよう2HNもサポートしていきたいと思います。“1人1個で構いません、100人いれば100個です。”



トヨタ車体クインシーズ



イオンモール大高

行政等相談窓口との情報交換会

4年ぶりに相談窓口の担当者との情報交換会を開催しました。より多くの担当者に参加していただくため、愛知、三重、岐阜3箇所での開催です。相談支援員による事例発表を通して、食料支援がどのように活用されているのか、食料支援の意義や役割など改めて確認することができました。

参加者の声

事例発表から食料支援の有用性や、家庭訪問のきっかけとして食品を活用することなどを学ぶことができました。



2HNからはこちらの現状や個人支援に関わっているボランティアが日頃感じていること、疑問点などを伝え、意見交換を行いました。対面で意見交換することでお互いの活動への思いなども知ることができます。

講演会による広報活動

企業や団体、高校や大学などから講演を依頼されることがあります。“2HNのファンを一人でも増やしたい！”という思いでできるだけ依頼に応え、2023年は14回の講演を行いました。講演を聞いたあとに、高校の文化祭や地域イベントでフードドライブを行うなどアクションに繋がることも少なくありません。今年は有難いことに名古屋キワニスクラブ社会公益賞の受賞や一食地域貢献プロジェクトの支援をいただきました。今後もフードバンク活動を知ってもらうため、コツコツ地道に続けていきたい活動の1つです。

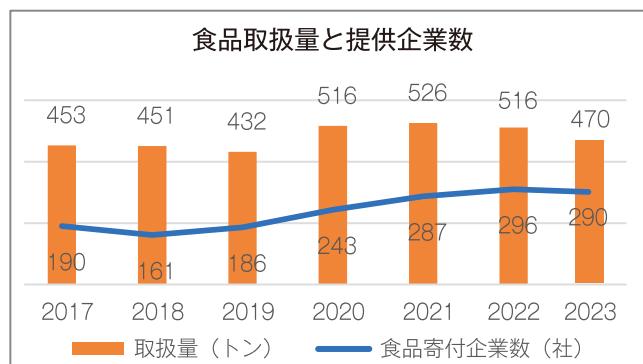


ポストコロナにおける 2023年概況

※2023年度実績は、1~10月実績に基づく推計値

食品取扱量 470トン

2023年は前年より約10%減（50トン減）の470トンの食品取扱量になる見込みです。円安や物価高騰などの影響で、企業が生産調整などによる食品ロス削減に取り組む中、フードバンクへの食品が集まりにくくなっています。1企業あたりの提供量は減少傾向ですが、提供企業数は前年同様の見込みです。社会情勢による影響はあるものの、継続的に支援してくださる企業や沢山の個人の方からの寄贈により、フードバンクの活動が成り立っています。



パートナー団体支援 185団体

困窮者支援・障がい者支援・外国人支援・母子家庭支援・児童養護施設・里親・子ども食堂・自立援助ホームなど地域で活動する185団体に食品を提供しました。また直送便や配達便でフードバンクネットワーク東海（東海地域の拠点フードバンク）に対し、約86トンの食品を提供しました。

個人支援 7000世帯

【行政等相談窓口と連携した個人支援】

行政等の相談窓口と連携し、毎日（月～金）平均24件、年間のべ5,700箱の食品支援箱を発送しました。コロナ禍のピーク時と比べると少し落ち着いてきたものの、支援依頼数は高止まりしている状況です。食糧支援が必要な方は、ぎりぎりの生活の中で生活の不安や社会に対する不信感を抱えている方が少なくありません。フードバンクの食品をお渡しすることで、まずは相談者の方に安心してもらい、次のステップに進むための意欲を得ることにも役立てています。

【ケアリーバー支援】

児童養護施設や里親、自立援助ホーム、母子家庭支援施設などを退所したケアリーバーを対象とした個人支援は、4月から新たに7施設が加わり、連携は24施設に広がっています。毎月平均85件、年間約1,050箱の支援を行いました。



【緊急的支援】

フードバンクには日々緊急支援の依頼も入ってきます。生活に困っている個人の方や難民申請中・仮放免中などで働くことができない外国人の方、シェルター運営団体等からの緊急支援として、年間およそ250箱の食料支援箱を提供しました。

寄付のお願い

いつも2HNの活動へのご理解、ご協力をありがとうございます。私たちの活動は行政からの支援は一切なく、皆様からの寄付金、会費、助成金などにより支えられています。

今後も皆様のあたたかいご支援、何卒よろしくお願ひいたします。

※2HNは名古屋市の認定NPO法人で、2HNへの寄付は所得税の寄附金控除の対象となります。

銀行振込

三菱 UFJ 銀行 栄町支店 普通口座 0015287

特定非営利活動法人 セカンドハーベスト名古屋

※領収書が必要な方は、info@2h-nagoya.orgまでご連絡ください。

クレジットカード

単発での寄付だけではなく、毎月の継続寄付メニューをご用意しております。

1,000円/月 3,000円/月 5,000円/月 10,000円/月

セカンドハーベスト名古屋 寄付

